



モズ号



第165号

発行日：平成29年10月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

診察室から ～ 脳腫瘍 ～

院長：田口 明

脳にできる腫瘍^{しゅよう}は、何から発生するかで分類されます。

脳実質から発生する神経膠腫^{こうしゅ}、脳神経から発生する神経鞘腫^{しやうしゅ}、脳を保護する膜から発生する髄膜腫^{ずいまくしゅ}などがあります。腫瘍と聞くと、がんのような悪性疾患を思い浮かべますが、必ずしもそうではありません。

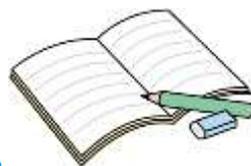
ちなみに脳にがんが見つかった場合は、肺など他臓器からの転移であり、全身検索が必要になります。症状は腫瘍が増大するに伴い、頭痛、嘔吐^{おうと}などの症状や腫瘍発生部分の脳障害によるまひ、知覚障害などが出現します。

ほかに突然意識を失う、手足が震えるなどのけいれん発作が起こることがあります。下垂体というホルモンを分泌する部分に腫瘍ができると、ホルモンの過剰分泌により手や足の指が太くなったり、にきびができて太ってきたり、乳汁分泌が起こったりなど独特な症状が現れます。

治療方法は腫瘍の部位、大きさ、患者さんの全身状態により選択決定されますが、原則的には手術でできるだけ摘出し、確実に診断をつけます。現在はナビゲーションシステムの使用や覚せい下での摘出術など器械、技術の進歩により手術の安全性、確実性が向上しています。

そのほかには放射線（x線、γ線）治療や化学療法などがあります。各種治療方法、薬剤の開発などで今後さらに患者さんの予後が改善すると期待しています。

勉強会がありました



『医療廃棄物の分別について』

院内感染対策委員会 K.M.

内容

今回の勉強会は、分かりやすいように実際の医療用具を見せながらどのように分別をするか説明しました。皆さんの記憶に残りやすいように発表形式にして問題に答えたりもして頂きました。



この医療用具を実際に廃棄する容器に分別してもらいました。

①②③④の順番に組み立て下さい。

感染性廃棄物を入れる段ボールの組み立て方実践中！

捨てる容器にもお金がかかっているのですよ！

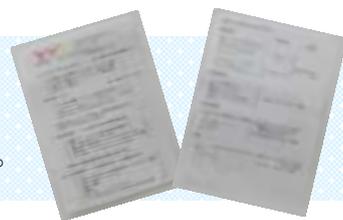
まとめ

私たち、医療従事者は業務の中で色々な医療用具を使用し、その分のたくさんの医療廃棄物が出ます。勉強会を通して医療廃棄物の分別について、スタッフ全員の知識の統一を図ることができたと思います。今後も一人一人が意識をしながら正しい分別に努めていきます。

勉強会風景



ポケットマニュアルの改訂をし、配布しました。皆さんに今後も活用していただきたいと思います。



今回の勉強会の理解度は100%でした！
(勉強会終了時のアンケートより集計)



「栄養相談」受けてみませんか？



◆栄養相談とは・・・

管理栄養士が患者様の病気の状態、食事の習慣をふまえたうえで食事のとり方について具体的にアドバイスを行うことです。また、患者様の食生活における不安や疑問に答えるとともに治療食への理解を深めるお手伝いをします。

◆こんな方におすすめ！

血圧や
コレステロール値、
中性脂肪、
血糖値が高い方

心臓病、腎臓病、
糖尿病、脂質異常症
と診断されている方

栄養に
興味がある方



◆栄養相談の流れ

事前調査

・採血



〔 血圧・体重・身長・体脂肪率
標準体重・BMI 〕 測定

・簡易食物調査表に記入



〔 普段の食事の内容をアンケート形式でお答えいただきます。
これを記入していただくことにより、ご自身の食生活の習慣
がわかり、改善点が明らかになります。 〕

当日

栄養相談



(内容)

- ・ 事前に記入して頂いていた簡易食物調査表の内容と前日に摂取した食べ物をお聞きし、それに基づいて管理栄養士が助言をさせていただきます。
- ・ 当院で実際にお出しした食事の献立表（分量などを詳しく記載してあるもの）を3日分お渡ししています。参考にさせていただきます。
- ・ 時間は30分程度です。

※お食事を作られる方も一緒にお話を聞かれると、助かります。

※午後からの相談となります。（外来患者様・入院中の患者様ともに）



受けられたい方は、スタッフにお尋ねください。

ボトックス勉強会 ありました

ボトックス治療についての勉強会がありました。ボトックスの効果や持続性等を学びました。短時間でしたが、有意義な時間となりました。

- 当院で適応となる病気は
「片側顔面けいれん」 「上肢及び下肢痙縮」
- 薬の効果
注射後、数日から二週間で効果が表れ、
3~4 か月効果が持続します。
- 注意点
この治療については、医師の診察が必要です。
また薬の効果や持続性については個人差が
ありますので、まずは医師にご相談ください。
- 詳細は広報誌8月号をご覧ください。



患者さまの声



短い間でしたが、お世話になりました。楽しい入院生活でした。有難う。
スタッフ、皆様の明るさ、笑顔にびっくり。お元気で。 60代男性



スタッフの皆さまの名前と顔を覚えるため、一人一人の名前付きの顔写真が玄関周辺2F3Fの掲示板などに「あればな〜」っと思いました。 30代男性



貴重なご意見ありがとうございます。
前向きに検討していきたいと思えます。

院内情報委員会メンバー一同

お知らせ

- ① 10月1日(日)は在宅医となっております。
- ② インフルエンザ予防接種を10月末から開始します。
 - ・ 予約はいりません。(受付にお申し出下さい)
 - ・ 65歳以上の方の市町村の助成は **12月31日** までです。
お早めに接種ください。
 - ・ 他の予防接種との接種順番など、お気軽に看護師にご相談ください。